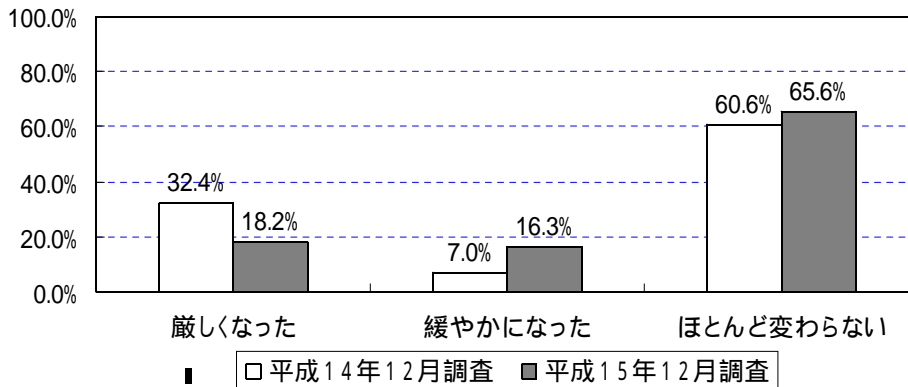


特別調査事項（取引先金融機関の貸出姿勢の状況等について）

1 取引先金融機関の貸出姿勢等について

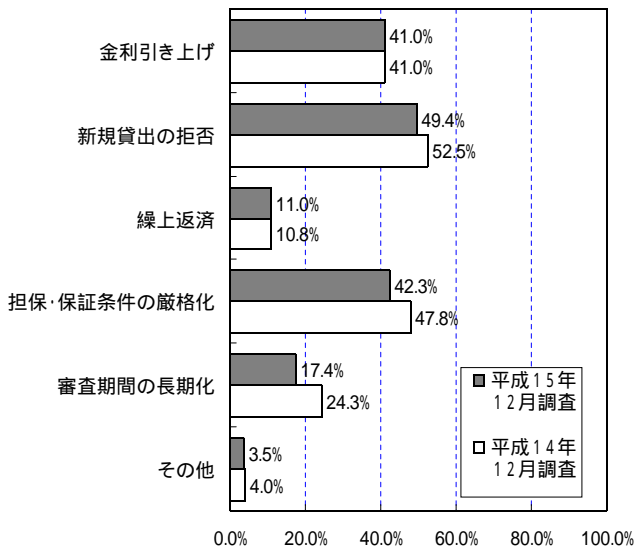
- 金融機関の貸出姿勢を1年前と比べ「厳しくなった」か「緩やかになった」かを尋ねたところ、「ほとんど変わらない」とする企業が最も多くを占めている。
しかしながら、前回調査(平成14年12月調査)と比べ「厳しくなった」とする企業が大幅に減少し、「緩やかになった」とする企業が増加しており、県内中小企業に対する金融機関の貸出姿勢は、依然として厳しさが続くものの改善に向けた動きがみられる。
- 「厳しくなった」とする具体的内容については、前回調査に続き「新規貸出の拒否」と回答するケースが最も多く、以下、「担保・保証条件の厳格化」、「金利の引き上げ」が続いている。
- また、「厳しくなった」ことに対して、どのような対応を行ったかを尋ねたところ、前回調査に続き「賃金・賞与の抑制」が最も多く、以下、「預貯金の取り崩し」が続いている。

< 金融機関の貸出姿勢について（1年前と比べ） >



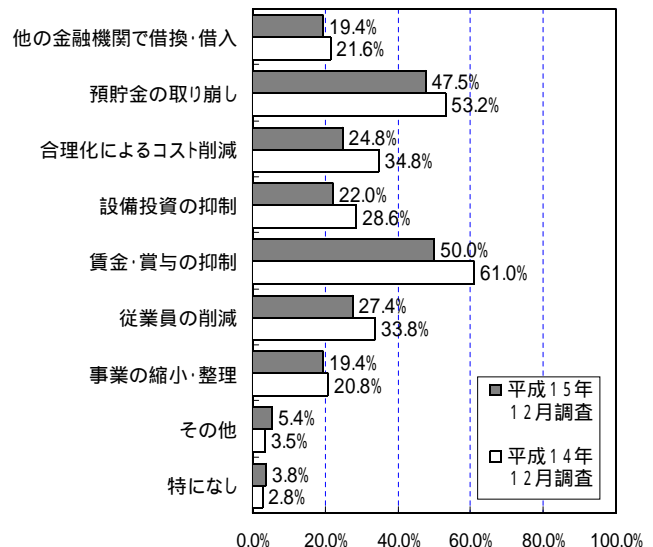
< 具体的内容（複数回答） >

（上図で「厳しくなった」との回答企業）

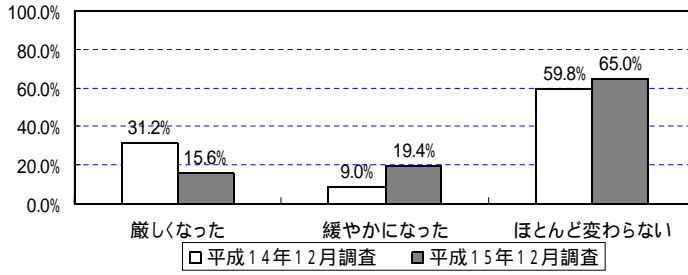


< 実行した対策（複数回答） >

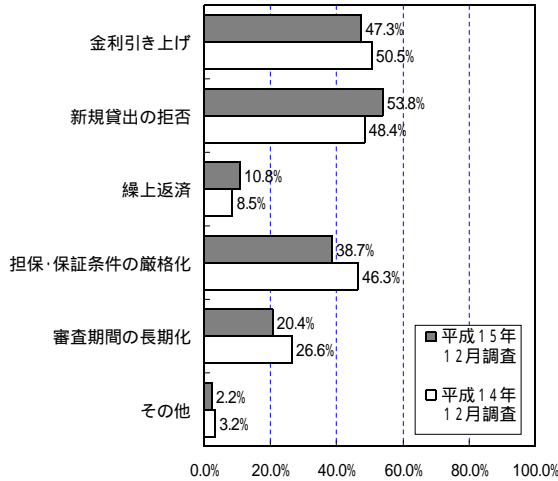
（上図で「厳しくなった」との回答企業）



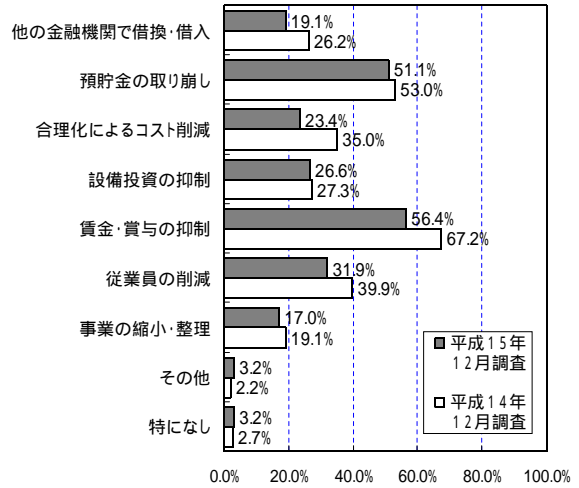
< **製造業**：金融機関の貸出姿勢について（1年前と比べ） >



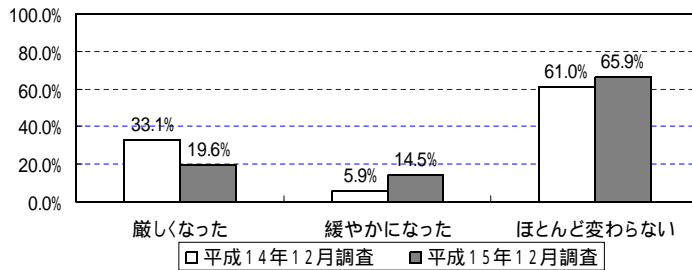
< 具体的内容（複数回答） >
（上図で「厳しくなった」との回答企業）



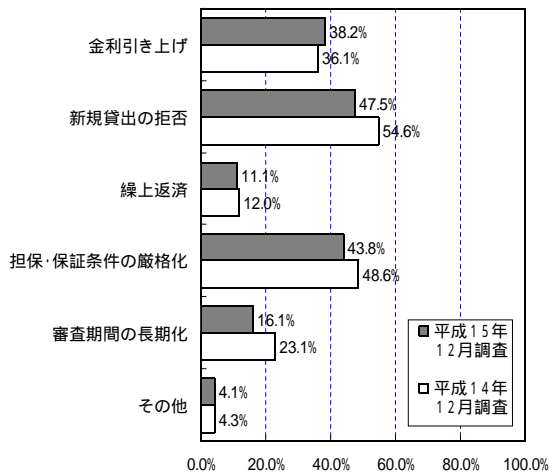
< 実行した対策（複数回答） >
（上図で「厳しくなった」との回答企業）



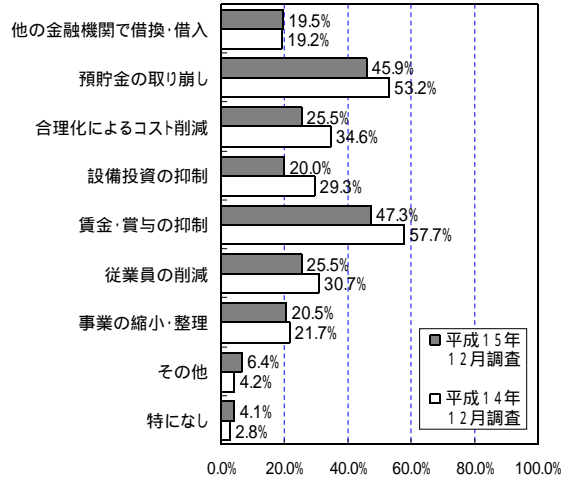
< **非製造業**：金融機関の貸出姿勢について（1年前と比べ） >



< 具体的内容（複数回答） >
（上図で「厳しくなった」との回答企業）



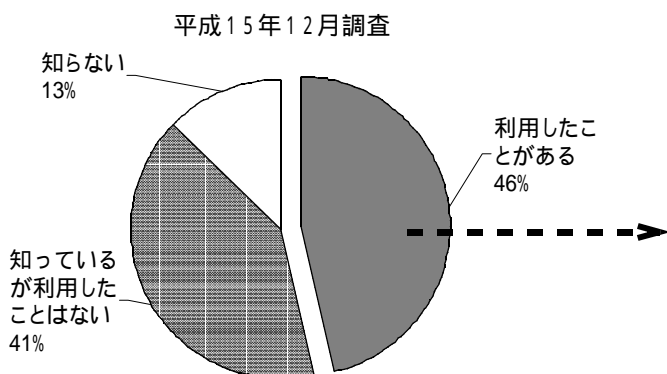
< 実行した対策（複数回答） >
（上図で「厳しくなった」との回答企業）



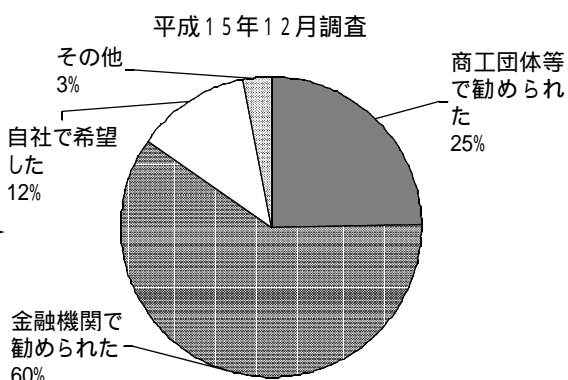
2 県制度融資の利用状況等について

- ・ 県制度融資の利用状況を尋ねたところ、全体の5割弱の企業が「利用したことがある」と回答しており、「知っているが利用したことがない」とする企業を含めると9割弱を占め、県制度融資が多くの企業に周知されていることを示している。
- ・ また、県制度融資を「利用したことがある」とする企業に「利用したきっかけ」を尋ねたところ、「金融機関で勧められた」とする企業が全体の6割を占め最も多く、次いで「商工団体等で勧められた」となっている。

< 県制度融資の利用状況 >



< 利用したきっかけ >



< 業種別：利用状況 >

業種	利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない
製造業	50.9%	39.7%	9.5%
非製造業	43.7%	41.6%	14.8%
建設業	44.4%	39.4%	16.1%
卸売・小売業	46.5%	42.6%	10.9%
飲食店	42.0%	46.0%	12.0%
情報サービス業	30.0%	47.5%	22.5%
医療業	34.2%	45.6%	20.2%
サービス業	50.0%	38.2%	11.8%

< 業種別：利用したきっかけ >

業種	商工団体等で勧められた	金融機関で勧められた	県の広報などを見て自社で希望した	その他
製造業	22.5%	64.8%	10.5%	2.2%
非製造業	26.2%	56.7%	13.5%	3.6%
建設業	31.6%	56.6%	11.0%	0.7%
卸売・小売業	28.9%	56.7%	12.4%	2.1%
飲食店	23.5%	64.7%	5.9%	5.9%
情報サービス業	12.5%	70.8%	12.5%	4.2%
医療業	2.7%	64.9%	18.9%	13.5%
サービス業	28.6%	49.5%	17.1%	4.8%